①経済の活性化を支える道づくり

【道路整備の基本】
80 人/ha の高密度土地利用と整合した幹線道路ネットワークを構築し、経済活動を阻害する渋滞の解消
→2 環状 7 放射道路の構築

従来付随的に扱われてきた分野の重要性を正当に評価した取り組み

観光に資する道路づくりで経済活性化（観光客は活動時間の半分以上は道路上の移動に費やす＝道路は重要な観光資源）
→風景街道づくり

地域自治体や住民と連携して、幹線道路整備効果を地域に届ける総合的な取り組み

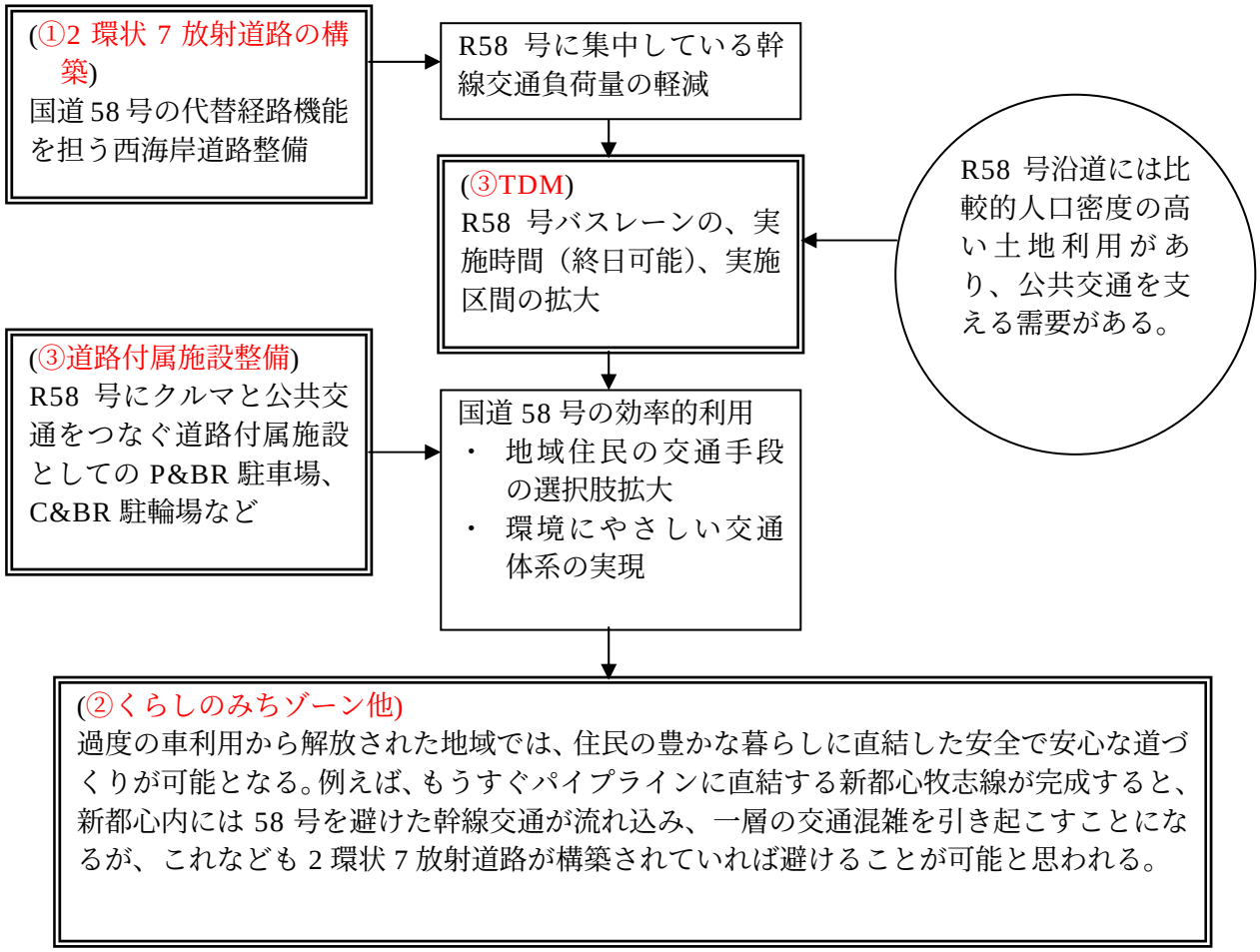
②暮らしに豊かさをもたらす道づくり

生活道路から幹線交通が排除され、環境保全、交通安全性が向上する。→くらしのみちゾーン他

生活に身近な道路空間の中では、クルマとコミュニティバスや自転車、ヒト、などが共存するみちづくり→ユニバーサル／バリアフリー他

③環境改善に貢献する道

幹線道路には公共交通の占有空間をつくり、バスや LRT 等で公共交通利用を増進しクルマの総量抑制
→ TDM／マルチモーダル

TDM 等を支援する P&BR 駐車場や駐輪場などの整備
→道路付属施設整備

那覇都市圏の国道５８号周辺を例とした、②、③に取り組む新しい道づくりのシナリオ